

DFS5112-12G

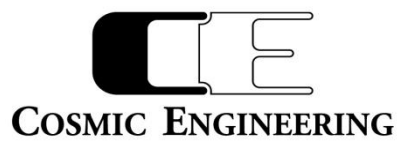
C5000 シリーズ

12G-SDI 対応

フレームシンクロナイズ・モジュール

取扱説明書

Ver 1.02



株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。



警告

■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。



■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。



■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。



■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	10
2. 構成.....	10
3. 機能.....	10
4. ブロック図.....	11
5. 操作説明.....	12
5-1. フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示.....	12
5-2. フロントモジュール設定.....	14
6. フレームの取付方法.....	14
7. 基本操作.....	15
8. エンベデット音声チャンネルについて.....	15
9. メニュー構成.....	16
10. メニュー説明.....	19
10-1. COMMON SETTING:REF SEL.....	19
10-2. COMMON SETTING:PHASE OFFSET H.....	19
10-3. COMMON SETTING:PHASE OFFSET V.....	19
10-4. COMMON SETTING:FS MODE.....	19
10-5. COMMON SETTING:FREEZE CTL.....	19
10-6. COMMON SETTING:ANC OUT.....	19
10-7. COMMON SETTING:SYSTEM FORMAT.....	19
10-8. COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL.....	20
10-9. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN.....	20
10-10. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET HH.....	20
10-11. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET MM.....	20
10-12. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET SS.....	20
10-13. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET FR.....	20
10-14. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT HH.....	20
10-15. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT MM.....	20
10-16. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT SS.....	20
10-17. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT FR.....	20
10-18. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BG1~INIT BG8.....	20
10-19. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BGF.....	20
10-20. COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN.....	20
10-21. COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN.....	20

1 0 – 2 2.	COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION.....	21
1 0 – 2 3.	COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD	21
1 0 – 2 4.	COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN.....	21
1 0 – 2 5.	COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC LTC EN.....	21
1 0 – 2 6.	COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC VITC EN	21
1 0 – 2 7.	COMMON SETTING:EMB SETTING:EMB OUT G1 EN~EMB OUT G8 EN.....	21
1 0 – 2 8.	COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB1 EMB	21
1 0 – 2 9.	COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB2 EMB	21
1 0 – 3 0.	COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB3 EMB~SUB4 EMB	22
1 0 – 3 1.	COMMON SETTING:AMODE PRECHG:AUTO EN.....	22
1 0 – 3 2.	COMMON SETTING:AMODE PRECHG: 1 M PRESET~OTHER PRESET	22
1 0 – 3 3.	COMMON SETTING:GPIO SETTING:GPI1 FUNCTION~GPI6 FUNCTION	22
1 0 – 3 4.	COMMON SETTING:GPIO SETTING:GPO1 FUNCTION~GPO6 FUNCTION	22
1 0 – 3 5.	PRESET SETTING:LOAD PRESET	23
1 0 – 3 6.	PRESET SETTING:SAVE PRESET	23
1 0 – 3 7.	PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN~EMB32IN GAIN	23
1 0 – 3 8.	PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01OUT GAIN~EMB32OUT GAIN.....	23
1 0 – 3 9.	PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP	23
1 0 – 4 0.	PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ.....	23
1 0 – 4 1.	PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01~REMAP CH32	23
1 0 – 4 2.	PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01~SSEL CH32.....	23
1 0 – 4 3.	PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01~LCOEF CH32.....	23
1 0 – 4 4.	PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01~RCOEF CH32.....	23
1 0 – 4 5.	PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01~LSIGN CH32	23
1 0 – 4 6.	PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01~RSIGN CH32.....	23
1 0 – 4 7.	PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01~MIX1 SSEL CH04.....	23
1 0 – 4 8.	PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01~MIX1 COEF CH04.....	24
1 0 – 4 9.	PRESET SETTING:AUDIO DELAY	24
1 0 – 5 0.	PRESET SETTING:VIDEO:LUMINANCE	24
1 0 – 5 1.	PRESET SETTING:VIDEO:SATURATION	24
1 0 – 5 2.	PRESET SETTING: VIDEO:HUE.....	24
1 0 – 5 3.	PRESET SETTING: VIDEO:CLAMP EN	24
1 0 – 5 4.	RETURN FEFAULT	24
1 0 – 5 5.	FACTORY RESET	24
1 1.	SNMP.....	25
1 2.	WebControl	36
1 2 – 1.	モジュール画面.....	36
1 2 – 2.	ステータス.....	36
1 2 – 2 – 1.	SDI 入力 1	36
1 2 – 2 – 2.	リファレンス	36

1 2 - 2 - 3.	SDI 入力 1 アンロックエラー	37
1 2 - 2 - 4.	リファレンスアンロックエラー	37
1 2 - 2 - 5.	LTC アンロックエラー	37
1 2 - 2 - 6.	ファン	37
1 2 - 2 - 7.	ライン同期	37
1 2 - 3.	各種設定	38
1 2 - 3 - 1.	リファレンス選択	40
1 2 - 3 - 2.	水平位相、垂直位相	40
1 2 - 3 - 3.	FS モード	40
1 2 - 3 - 4.	フリーズ動作	41
1 2 - 3 - 5.	アンシラリー出力	41
1 2 - 3 - 6.	システムフォーマット	41
1 2 - 3 - 7.	ATC(LTC)出力	41
1 2 - 3 - 8.	ATC(VITC)出力	41
1 2 - 3 - 9.	TC 選択	41
1 2 - 3 - 10.	TC オフセット制御	41
1 2 - 3 - 11.	TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	41
1 2 - 3 - 12.	TC ロスト時動作	42
1 2 - 3 - 13.	TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)	42
1 2 - 3 - 14.	TC 初期値(BG1)～(BG8)、(BG フラグ)	42
1 2 - 3 - 15.	TC フレーム初期値ロード	42
1 2 - 3 - 16.	TC ドロップフレーム有効	42
1 2 - 3 - 17.	TC 自走時初期値ロード	42
1 2 - 3 - 18.	TC 自走開始	42
1 2 - 3 - 19.	出力エンベデッド・オーディオ Grp1～Grp8 制御	42
1 2 - 3 - 20.	サブイメージ 1・オーディオ Grp 設定	42
1 2 - 3 - 21.	サブイメージ 2・オーディオ Grp 設定	42
1 2 - 3 - 22.	サブイメージ 3、4・オーディオ Grp 設定	43
1 2 - 3 - 23.	自動プリセット切替制御	43
1 2 - 3 - 24.	音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定	43
1 2 - 3 - 25.	GPI1～GPI6 機能	43
1 2 - 3 - 26.	GPO1～GPO6 機能	43
1 2 - 3 - 27.	プリセットロード	43
1 2 - 3 - 28.	プリセットセーブ	43
1 2 - 3 - 29.	エンベ入力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)	44
1 2 - 3 - 30.	エンベ出力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)	44
1 2 - 3 - 31.	テストトーン 1、2 振幅(dBFS)	44
1 2 - 3 - 32.	テストトーン 1、2 周波数	44
1 2 - 3 - 33.	リマップ出力 CH01～CH32 選択	44
1 2 - 3 - 34.	ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択	44

1 2 - 3 - 3 5.	ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数	44
1 2 - 3 - 3 6.	ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数	44
1 2 - 3 - 3 7.	ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号	44
1 2 - 3 - 3 8.	ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号	44
1 2 - 3 - 3 9.	音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択	44
1 2 - 3 - 4 0.	音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)	44
1 2 - 3 - 4 1.	音声遅延(ms)	45
1 2 - 3 - 4 2.	輝度(*0.1%)	45
1 2 - 3 - 4 3.	彩度(*0.1%)	45
1 2 - 3 - 4 4.	色相(*0.1deg)	45
1 2 - 3 - 4 5.	クランプ	45
1 2 - 3 - 4 6.	アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー	45
1 2 - 3 - 4 7.	アラーム設定@リファレンスアンロックエラー	45
1 2 - 3 - 4 8.	アラーム設定@LTC アンロックエラー	45
1 2 - 3 - 4 9.	アラーム設定@ラインエラー	45
1 2 - 3 - 5 0.	アラーム設定@ファンエラー	45
1 2 - 3 - 5 1.	トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー	45
1 2 - 3 - 5 2.	トラップ設定@リファレンスアンロックエラー	45
1 2 - 3 - 5 3.	トラップ設定@LTC アンロックエラー	45
1 2 - 3 - 5 4.	トラップ設定@ラインエラー	45
1 2 - 3 - 5 5.	トラップ設定@ファンエラー	45
1 2 - 3 - 5 6.	初期設定に戻す	45
1 2 - 4.	再起動設定	46
1 2 - 4 - 1.	再起動を許可	46
1 2 - 4 - 2.	コントローラーの再起動	46
1 2 - 5.	ログ設定	46
1 2 - 5 - 1.	ログ件数	46
1 2 - 5 - 2.	ログ更新時刻	46
1 2 - 5 - 3.	SD カード状態	46
1 2 - 5 - 4.	ログファイル初期化	46
1 2 - 5 - 5.	ログ取得	47
1 2 - 6.	製品情報	47
1 2 - 6 - 1.	製品 ID	47
1 2 - 6 - 2.	製品概要	47
1 2 - 6 - 3.	Version (Firmware) 、Version (Hardware)	47
1 2 - 6 - 4.	占有スロット数	47
1 2 - 6 - 5.	別名	47
1 2 - 6 - 6.	シリアル番号	47
1 3.	コネクタ ピンアサイン表	48
1 4.	定格および電気的特性	49

1 5. お問い合わせ	50
-------------------	----

1. 概要

- DFS5112-12GはC5000 モジュールシステムに搭載可能な 12G/6G/3G/HD-SDI 信号に対応した 1 入力 4 出力、個別のリファレンス入力、リモート入力を持つフレームシンクロナイザー・モジュールです。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DFS5112-12G は本体と付属品で構成されています。

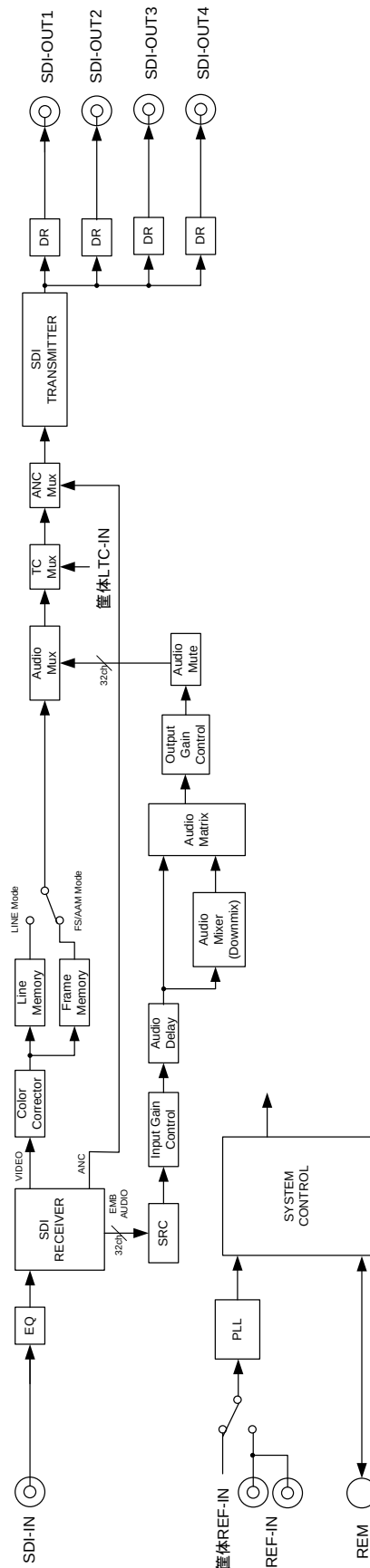
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数量	備 考
12G-SDI 対応 フレームシンクロナイザー・モジュール	DFS5112-12G	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

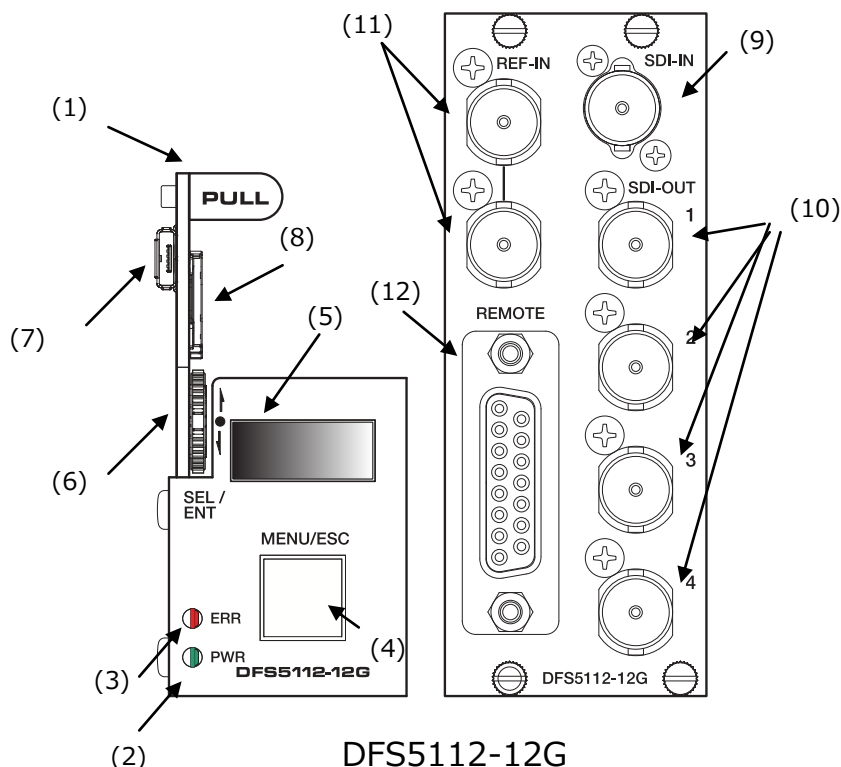
- ・12G(TYPE1)/6G(TYPE2)/ 3 G(レベル A/B)/HD-SDI に対応し、入力フォーマットを OLED に表示します。
- ・入力されているオーディオグループ、入力されているタイムコードを OLED に表示します。
- ・入力信号異状、リファレンス異常、ラインシンクロモードでの引き込みエラー、LTC エラー、FAN エラーを OLED に表示し、1 つでもエラーがあるときにエラー LED が点灯します。(1 画面 3 行でスクロール表示します) 表示例は、5-1. フロント、リア入出力及び LED、OLED 表示を参照してください。
- ・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケットとして重畳することができます。
- ・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。(HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで、6G/12G-SDI は SUB1:16ch,SUB2:16ch のトータル 32ch まで対応します。)
- ・リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。
- ・ゲイン調整は、-30.0dB~+20.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・接点入力によるプリセットの切替が可能です。
- ・音声遅延を 0~2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・輝度/色相/彩度等の調整が可能です。
- ・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリデータはすべて通過します。(タイムコードは選択可能)
- ・パラメーターの設定はメニュー又は、SNMP、WEB より設定できます。
- ・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件を SD カードに保存しています。
- ・外部制御パネル(オプション) を接続することができます。(C5000 フレームとイーサネット接続)
- ・SNMP に対応します。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及びLED、OLED 表示



(1) フロントモジュール引き出し取っ手

(2) 電源ランプ 電源投入時 緑点灯

(3) エラーLED エラー無し時消灯、エラー時 赤点灯

SDI, REF アンロック, ラインシンクロモードでの引き込みエラー、FAN エラーが 1 つでもあった場合にエラーLED が赤点灯します。

(4) メニュー／エスケープスイッチ

通常モードでは、メニューモードへの遷移に使用し、メニューモードではメニューのキャンセル処理、又はメニューの上位階層への遷移に使用します。

(5) OLED 表示器

通常状態では、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(REF, FS, LTC, FAN)を表示し、メニューモードでは各種設定内容を表示します。

SDI 2160P59 GRP 12345678 01:16:23	REF 525159 FS NO ERR LTC NO ERR
FS NO ERR LTC NO ERR FAN NO ERR	SDI UNLOCK GRP _____ 00:00:00

メニュー選択スイッチを上下に動かす事により、ステータス画面をスクロールすることができます。又、一定時間経過するとステータス画面は自動スクロールします。

(6) メニュー選択スイッチ

上下に動かすことによりメニュー移動をし、押すことによりメニュー選択、パラメーター選択の決定を行います。

(7) Micro USB (メンテナンス用)

(8) SD カードスロット

ログを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(9) SDI 入力 SDI-IN

(11) SDI 出力 SDI-O1,2,3,4

フレームシンクロナイズされた SDI 出力が 4 分配出力されます。

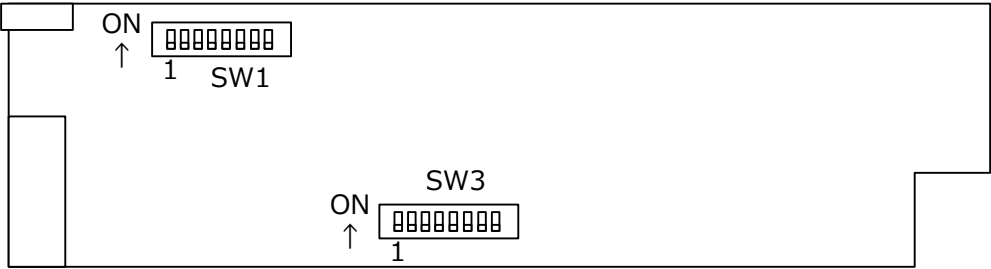
(12) リファレンス入力 REF

DFS51112G には、モジュール専用のリファレンス入力とループスルー出力が装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

(13) リモート GPIO コネクタ REM

汎用の GPI 6 入力と汎用の GPO 6 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行うことができます。

5 – 2. フロントモジュール設定



SW1 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

SW3 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

6. フレームの取付方法

6-1 “2 スロット”以上の空きを確認し、リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを 4ヶ所ネジ止めします。

6-2 リアモジュールのスロット番号を確認して若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。(スロット9,10の場合、スロット9に挿入)

7. 基本操作

- 1) 電源投入直後、及びメニューモードから通常モードに遷移したときに、モデル名、S/W,H/W バージョンを表示します。

```
DFS5112-12G
S/W: V1.0.0
H/W: V1.0.0
```

- 2) 一定時間経過後、システムフォーマット、入力されている音声グループ、タイムコード、エラー内容(REF,FS,LTC,FAN)のステータス表示となります。ステータス表示は、画面スクロールし表示します。

```
SDI 2160P59
GRP 12345678
01:16:23
```

```
REF 525159
FS NO ERR
LTC NO ERR
```

```
FS NO ERR
LTC NO ERR
FAN NO ERR
```

```
SDI UNLOCK
GRP _____
00:00:00
```

エラーステータスは、以下の通りです。

- SDI UNLOCK : 入力 SDI がアンロック状態であるとき。正常時は入力フォーマットを表示します。
- REF ERR : リファレンスがアンロック状態であるとき
- FS LINE ERR : FS モードがラインシクロナスモードで、入力 SDI 信号が有効な範囲でない状態のとき
- LTC ERR : アンシラリータイムコード(ATC)が出力設定でかつ、TC が LTC 入力に設定されているときに LTC がアンロック状態であるとき、又は TC が ATC 入力に設定されているとき ATC が未検出状態であるとき
- FAN ERR : FAN の回転が停止したとき

これらのエラーが 1 つでも発生した場合、フロントのエラーLED が赤点灯します。

- 3)この通常モードでフロントパネルのメニュースイッチを 1 秒間長押しするとメニューモードに遷移します。
- 4)メニューモードではメニュー選択スイッチを上下に動かすことによりメニューを遷移し、メニュー選択スイッチを押すことにより下位メニューに遷移、又は設定値の決定を行います。
- 5)メニューモードではメニュースイッチを押すことによりメニュー上位階層に遷移し、最後に 1)の状態の通常モードに戻ります。また、メニューモードで 1 分間スイッチ操作がないと、自動的に通常モードに戻ります。

8. エンベデット音声チャンネルについて

入力 SDI 信号にエンベデットされたオーディオ信号は、サブイメージ 1 (3G レベル A、3G レベル B のリンク A、6G/12G の SUB1) に G1～G8 までエンベデットされていた場合は、サブイメージ 1 の 32 チャンネルを入力エンベデット・オーディオとして扱います。サブイメージ 1 に G5～G8 のエンベデット・オーディオが含まれていない場合は、サブイメージ 1 の G1～G4 を入力 CH01～CH16 とし、サブイメージ 2(3G レベル B のリンク B、6G/12G の SUB2)の G1～G4 を入力グループ G5～G8、CH17～CH32 として扱います。

9. メニュー構成

[]内はデフォルト値

MENU

- COMMON SETTING : プリセット間共通の設定を行います。
 - REF SEL [FRAME] : リファレンス信号を選択します
 - PHASE OFFSET H [0 pix]:SDI出力の水平位相を調整します。
 - PHASE OFFSET V [0 line]:SDI出力の垂直位相を調整します。
 - FS MODE [FS]:FSモードを設定します。
 - FREEZE CTL [FRAME]:フリーズ時の動作を設定します。
 - ANC OUT [ON]:オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットの出力を制御します。
 - SYSTEM FORMAT [AUTO]:SDI出力のシステムフォーマットを設定します。
 - TC SETTING :TC関係の設定メニューです
 - TC SEL [INT] :内蔵TCの動作を設定します。
 - OFFSET EN [OFF] :TC SEL=LTC/ATC時のオフセットの設定をします。
 - OFFSET HH [0] :オフセット値の時間を設定します。
 - OFFSET MM [0] :オフセット値の分を設定します。
 - OFFSET SS [0] :オフセット値の秒を設定します。
 - OFFSET FR [2] :オフセット値のフレームを設定します。
 - INIT HH [0] :TC SEL=INT時の初期値の時間を設定します。
 - INIT MM [0] :TC SEL=INT時の初期値の分を設定します。
 - INIT SS [0] :TC SEL=INT時の初期値の秒を設定します。
 - INIT FR [0] :TC SEL=INT時の初期値のフレームを設定します。
 - INIT BG1 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ1を設定します。
 - INIT BG2 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ2を設定します。
 - INIT BG3 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ3を設定します。
 - INIT BG4 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ4を設定します。
 - INIT BG5 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ5を設定します。
 - INIT BG6 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ6を設定します。
 - INIT BG7 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ7を設定します。
 - INIT BG8 [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループ8を設定します。
 - INIT BGF [0] :TC SEL=INT時の初期値のバイナリグループフラグを設定します。
 - FR LOAD EN [OFF] :TC SEL=INT時のフレーム値のロードを設定します。
 - DROP FR EN [ON] :TC SEL=INT時のドロップフレームの設定をします。
 - LOST ACTION [AUTO RUN] :TC SEL=LTC/ATC時の入力ロス時の動作を設定します。
 - INIT LOAD [OFF] :TC SEL=INT時の初期値のロードを設定します。
 - INT RUN [OFF] :自走TCの開始、停止を設定します。
 - OUT ATC LTC EN [OFF] :ATC LTCの出力を設定します。
 - OUT ATC VITC EN [OFF] :ATC VITCの出力を設定します。
- EMB SETTING :エンベデット・オーディオ関係の設定メニューです
 - EMB OUT G1 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ1の出力設定をします。
 - EMB OUT G2 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ2の出力設定をします。
 - EMB OUT G3 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ3の出力設定をします。
 - EMB OUT G4 EN [ON] :エンベデット・オーディオ・グループ4の出力設定をします。
 - EMB OUT G5 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ5の出力設定をします。
 - EMB OUT G6 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ6の出力設定をします。
 - EMB OUT G7 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ7の出力設定をします。
 - EMB OUT G8 EN [OFF] :エンベデット・オーディオ・グループ8の出力設定をします。
 - SUB1 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB1イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
 - SUB2 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB2イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
 - SUB3 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB3イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。
 - SUB4 EMB [G1-G4 ASSIGN] :SUB4イメージへのエンベデット・グループの出力設定をします。

MENUつづき

- AMODE PRECHG : 局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替動作の設定をします。
 - AUTO EN [OFF] : 音声モードによる自動プリセット切替を設定します。
 - 1M PRESET [P1] : 音声モード1M時のプリセット番号を設定します。
 - 2M PRESET [P2] : 音声モード2M時のプリセット番号を設定します。
 - 3M PRESET [P3] : 音声モード3M時のプリセット番号を設定します。
 - 4M PRESET [P4] : 音声モード4M時のプリセット番号を設定します。
 - 1S PRESET [P5] : 音声モード1S時のプリセット番号を設定します。
 - 2S PRESET [P6] : 音声モード2S時のプリセット番号を設定します。
 - 1S+2M PRESET [P7] : 音声モード1S+2M時のプリセット番号を設定します。
 - 5.1 PRESET [P8] : 音声モード5.1時のプリセット番号を設定します。
 - 5.1+S PRESET [P9] : 音声モード5.1+S時のプリセット番号を設定します。
 - OTHER PRESET [P10] : 音声モードその他の時のプリセット番号を設定します。
- GPIO SETTING : GPIOの設定を行います。
 - GPI1 FUNCTION [NON] : GPI1の機能を設定します。
 - :
 - GPI6 FUNCTION [NON] : GPI6の機能を設定します。
 - GPO1 FUNCTION [NON] : GPO1の機能を設定します。
 - :
 - GPO6 FUNCTION [NON] : GPO6の機能を設定します。
- PRESET SETTING : プリセットに保存されるパラメータを設定します
 - LOAD PRESET [P1] : プリセットのロードを行います。
 - SAVE PRESET [P1] : プリセットのセーブを行います。
 - AUDIO GAIN : オーディオのゲインを設定します。
 - EMB01IN GAIN [0.0dB] : エンベデット入力CH01のゲインを設定します。
 - :
 - EMB32IN GAIN [0.0dB] : エンベデット入力CH32のゲインを設定します。
 - EMB01OUT GAIN [0.0dB] : エンベデット出力CH01のゲインを設定します。
 - :
 - EMB32OUT GAIN [0.0dB] : エンベデット出力CH32のゲインを設定します。
 - TEST TONE : テストトーンの設定をします。
 - TT1 AMP [-20dBFS] : テストトーン1の出力レベルを設定します。
 - TT2 AMP [-20dBFS] : テストトーン2の出力レベルを設定します。
 - TT1 FREQ [1000Hz] : テストトーン1の周波数を設定します。
 - TT2 FREQ [800Hz] : テストトーン2の周波数を設定します。
 - REMAP : 出力エンベデット・オーディオのリマップを行います。
 - REMAP CH01 [EMB01] : 出力CH01へのオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - REMAP CH32 [EMB32] : 出力CH32へのオーディオ信号の割り当てを行います。

MENUつづき

- DOWNMIX : ダウンミックスの設定を行います。
 - SSEL CH01 [EMB01] : ダウンミックス演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - SSEL CH32 [EMB32] : ダウンミックス演算するCH32のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - LCOEF CH01 [0] : ダウンミックスLchを演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - LCOEF CH32 [0] : ダウンミックスLchを演算するCH32の係数を設定します。
 - RCOEF CH01 [0] : ダウンミックスRchを演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - RCOEF CH32 [0] : ダウンミックスRchを演算するCH32の係数を設定します。
 - LSIGN CH01 [+1.0] : ダウンミックスLchを演算するCH01の符号を設定します。
 - :
 - LSIGN CH32 [+1.0] : ダウンミックスLchを演算するCH32の符号を設定します。
 - RSIGN CH01 [+1.0] : ダウンミックスRchを演算するCH01の符号を設定します。
 - :
 - RSIGN CH32 [+1.0] : ダウンミックスRchを演算するCH32の符号を設定します。
- MIX : 任意MIXの設定を行います。
 - MIX1 SSEL CH01 [MUTE] : 任意MIX1の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - MIX1 SSEL CH04 [MUTE] : 任意MIX1の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - MIX1 COEF CH01 [0] : 任意MIX1の演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - MIX1 COEF CH04 [0] : 任意MIX1の演算するCH04の係数を設定します。
 - :
 - MIX8 SSEL CH01 [MUTE] : 任意MIX8の演算するCH01のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - :
 - MIX8 SSEL CH04 [MUTE] : 任意MIX8の演算するCH04のオーディオ信号の割り当てを行います。
 - MIX8 COEF CH01 [0] : 任意MIX8の演算するCH01の係数を設定します。
 - :
 - MIX8 COEF CH04 [0] : 任意MIX8の演算するCH04の係数を設定します。
- AUDIO DELAY [32ms] : オーディオの遅延量を設定します。
- VIDEO : カラーコレクションの設定をします。
 - LUMINANCE [100.0%] : 輝度を設定します。
 - SATURATION [100.0%] : 彩度を設定します。
 - HUE [0.0°] : 色相を設定します。
 - CLAMP EN [OFF] : 色値のクランプを行うか設定します。
- RETURN DEFAULT [NO] : 現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットは初期化しません。
- FACTORY RESET [NO] : プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

1 0 . メニュー説明

1 0 – 1 . COMMON SETTING:REF SEL

リファレンス信号を選択します。

FRAME : フレームに入力されたリファレンス信号に同期します。

MODULE : モジュールに入力されたリファレンス信号に同期します。

FREERUN : フリーランで動作します。

IN1 : 入力信号に同期します。

1 0 – 2 . COMMON SETTING:PHASE OFFSET H

SDI 出力の水平位相を-2199～+2199 ピクセルの範囲で設定します。

1 0 – 3 . COMMON SETTING:PHASE OFFSET V

SDI 出力の垂直位相を-600～+600 ラインの範囲で設定します。

1 0 – 4 . COMMON SETTING:FS MODE

フレームシンクロナス・モードの設定を行います。

LINE : ラインシンクロナス・モードで動作します。出力タイミングの約10ライン前までの入力信号を引き込みます。

FS : フレームシンクロナス・モードで動作します。最大1フレームの遅延が発生します。

AAM : 自動オーディオ・ミュート・モードで動作します。入力信号の切り替わりでのエラーを検出し出力音声にミュート処理を行います。

BYPASS : 入力信号に同期し最小遅延で出力します。PHASE OFFSET H/Vの位相調整は無効となります。

1 0 – 5 . COMMON SETTING:FREEZE CTL

FS/AAM モードでの入力信号エラー時のフリーズ動作を設定します。

OFF : フリーズ時に黒画面を出力します。

FIELD : 最後のフィールド映像でフリーズします。

FRAME : 最後のフレーム映像でフリーズします。

1 0 – 6 . COMMON SETTING:ANC OUT

エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットの出力を設定します。

OFF : エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットを出力しません。

ON : エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットを出力します。

1 0 – 7 . COMMON SETTING:SYSTEM FORMAT

SDI 出力のシステムフォーマットを設定します。

AUTO : 入力SDI信号のフォーマットを自動検出し、システムフォーマットとします。

その他、固定フォーマットで指定でき、指定できるフォーマットは以下の通りです。

7720P60, 720P59, 720P50, 720P30, 720P29, 720P25, 720P24, 720P23, 1080I60, 1080I59, 1080I50, 1080P30, 1080P29, 1080P25, 1080P24, 1080P23, 1080PSF24, 1080PSF23, 1080P60A, 1080P59A, 1080P50A, 1080P60B, 1080P59B, 1080P50B, 1080P30B, 1080P29B, 1080P25B, 1080P24B, 1080P23B, 1080PSF29B, 2160P30, 2160P29, 2160P25, 2160P24, 2160P23, 2160P60, 2160P59, 2160P50

注意：2160P50 で使用する場合は AUTO でなく、明示的に 2160P50 と必ず設定してください。

1 0 – 8. COMMON SETTING:TC SETTING:TC SEL

内蔵 TC の動作を設定します。

INT : 自走でタイムコードを生成します。

LTC : フレームに入力されたLTC信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC : SDI入力にエンベデットされたアンシラリータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

1 0 – 9. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET EN

TC SEL=LTC/ATC 時のオフセットを設定します。

OFF : オフセットしません。

ON : OFFSET_HH~OFFSET_FRの値でオフセットします。

1 0 – 1 0. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET HH

オフセット値の時間を設定します。設定できる範囲は 0~23 です。

1 0 – 1 1. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET MM

オフセット値の分を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 1 2. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET SS

オフセット値の秒を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 1 3. COMMON SETTING:TC SETTING:OFFSET FR

オフセット値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0~29 です。

1 0 – 1 4. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT HH

TC SEL=INT 時の初期値の時間を設定します。設定できる範囲は 0~23 です。

1 0 – 1 5. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT MM

TC SEL=INT 時の初期値の分を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 1 6. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT SS

TC SEL=INT 時の初期値の秒を設定します。設定できる範囲は 0~59 です。

1 0 – 1 7. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT FR

TC SEL=INT 時の初期値のフレームを設定します。設定できる範囲は 0~29 です。

1 0 – 1 8. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BG1~INIT BG 8

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ 1 ~グループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

1 0 – 1 9. COMMON SETTING:TC SETTING:INIT BGF

TC SEL=INT 時のバイナリーグループ・フラグを設定します。設定できる範囲は 0~7 です。

1 0 – 2 0. COMMON SETTING:TC SETTING:FR LOAD EN

TC SEL=INT 時の初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

OFF : フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。

ON : フレーム値INIT FRをロードします。

1 0 – 2 1. COMMON SETTING:TC SETTING:DROP FR EN

TC SEL=INT 時のドロップフレーム動作を設定します。

OFF : ノン・ドロップフレームで動作します。

ON : ドロップフレームで動作します。

1 0 – 2 2 . COMMON SETTING:TC SETTING:LOST ACTION

TC SEL=LTC/ATC 時に、入力 LTC 又は ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

- AUTO RUN : カウント動作を継続します。
- STOP : カウント動作を停止します。
- NO PACKET : タイムコードパケットを出力しません。

1 0 – 2 3 . COMMON SETTING:TC SETTING:INIT LOAD

TC SEL=INT 時に、初期値をロードします。

- OFF : 初期値をロードしません。
- ON : 初期値をロードします。

1 0 – 2 4 . COMMON SETTING:TC SETTING:INT RUN

自走 TC の開始、停止を設定します。

- OFF : 停止します。
- ON : 開始します。

1 0 – 2 5 . COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC LTC EN

アンシラリー・タイムコード ATC LTC の出力を設定します。

- OFF : ATC LTCを出力しません。
- ON : ATC LTCを出力します。

1 0 – 2 6 . COMMON SETTING:TC SETTING:OUT ATC VITC EN

アンシラリー・タイムコード ATC VITC の出力を設定します。

- OFF : ATC VITCを出力しません。
- ON : ATC VITCを出力します。

1 0 – 2 7 . COMMON SETTING:EMB SETTING:EMB OUT G1 EN～EMB OUT G8 EN

エンベデット・オーディオ・グループ 1～グループ 8 の出力を設定します。

- OFF : エンベデット・オーディオ・グループ1を出力しません。
- ON : エンベデット・オーディオ・グループ1を出力します。

1 0 – 2 8 . COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB1 EMB

HD,3G レベル A、3G レベル B のリンク A,6G/12G サブイメージ 1 にエンベデットするグループを設定します。

- G1-G4 : エンベデット・オーディオ・グループ1～4を重畳します。
- G5-G8 : エンベデット・オーディオ・グループ5～8を重畳します。
- G1-G8 : エンベデット・オーディオ・グループ1～8を重畳します。
- OFF : エンベデット・オーディオを重畳しません。

1 0 – 2 9 . COMMON SETTING:EMB SETTING:SUB2 EMB

3G レベル B のリンク B,6G/12G サブイメージ 2 にエンベデットするグループを設定します。

- G1-G4 : エンベデット・オーディオ・グループ1～4を重畳します。
- G5-G8 : エンベデット・オーディオ・グループ5～8を重畳します。
- G1-G8 : エンベデット・オーディオ・グループ1～8を重畳します。

OFF : インベデット・オーディオを重畳しません。

1 0 - 3 0 . COMMON SETTING: EMB SETTING: SUB3 EMB ~ SUB4 EMB

6G/12G サブイメージ 3, 又は 4 にインベデットするグループを設定します。

G1-G4 : インベデット・オーディオ・グループ1~4を重畳します。

G5-G8 : インベデット・オーディオ・グループ5~8を重畳します。

G1-G8 : インベデット・オーディオ・グループ1~8を重畳します。

OFF : インベデット・オーディオを重畳しません。

1 0 - 3 1 . COMMON SETTING: AMODE PRECHG: AUTO EN

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

OFF : 音声モードによる自動プリセット切替を行いません。

ON : 音声モードによる自動プリセット切替を行います。

1 0 - 3 2 . COMMON SETTING: AMODE PRECHG: 1 M PRESET ~ OTHER PRESET

音声モード 1 M ~ 4 M, 1 S, 2 S, 1 S + 2 M, 5.1, 5.1 + S、その他時のプリセット番号を設定します。P1 ~ P12 のプリセット番号を指定します。

1 0 - 3 3 . COMMON SETTING: GPIO SETTING: GPI1 FUNCTION ~ GPI6 FUNCTION

GPI1 ~ GPI6 の機能を設定します。

P1 ~ P12 : プリセットのロードを行います。

FREEZE : 出力SDIをフリーズします。

THROUGH : 出力SDIに入力SDIをスルー出力します。

MUTE ON : 出力音声をミュートします。

TC SET : TC SET = INT時に初期値をロードします。

NON : 何もしません。

1 0 - 3 4 . COMMON SETTING: GPIO SETTING: GPO1 FUNCTION ~ GPO6 FUNCTION

GPO1 ~ GPO6 の機能を設定します。

P1 ~ P12 : 指定プリセット時にONします。

FREEZE : 出力フリーズ時にONします。

THROUGH : 出力SDIに入力SDIをスルー出力時にONします。

MUTE ON : 出力音声をミュート時にONします。

TC SET : TC SET = INT時に初期値をロードしたときにONします。

SDI ERR : SDIエラー時にONします。

REF ERR : REFエラー時にONします。

LTC ERR : LTCエラー時にONします。

LINE ERR : ラインシンクロナイズ・モード時に引き込みエラー時にONします。

FAN ERR : FAN動作停止時にONします。

NON : 何もしません。

1 0 - 3 5 . PRESET SETTING:LOAD PRESET

プリセットをロードします。プリセット番号 P1～P12 を指定します。

1 0 - 3 6 . PRESET SETTING:SAVE PRESET

プリセットをセーブします。プリセット番号 P1～P12 を指定します。

1 0 - 3 7 . PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01IN GAIN～EMB32IN GAIN

エンベデット・オーディオ入力 CH01～CH32 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0～+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。

1 0 - 3 8 . PRESET SETTING:AUDIO GAIN:EMB01OUT GAIN～EMB32OUT GAIN

エンベデット・オーディオ出力 CH01～CH32 のゲイン値を設定します。設定範囲は-50.0～+50.0dB までで、0.1dB 単位で設定できます。

1 0 - 3 9 . PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 AMP,TT2 AMP

テストトーン 1,2 の出力レベルを設定します。設定範囲は-63～0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

1 0 - 4 0 . PRESET SETTING:TEST TONE:TT1 FREQ,TT2 FREQ

テストトーン 1,2 の周波数を設定します。設定できる周波数は 400Hz,800Hz,1000Hz,2000Hz です。

1 0 - 4 1 . PRESET SETTING:REMAP:REMAP CH01～REMAP CH32

エンベデット・オーディオ出力 CH01～CH32 のオーディオ信号の割り当てを設定します。

EMB01～EMB32 : エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

DMX_L,DMX_R : ダウンミックス音声。

MIX1～MIX8 : 任意MIX音声1～8。

MUTE : 無音。

1 0 - 4 2 . PRESET SETTING:DOWNMIX:SSEL CH01～SSEL CH32

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号の割り当てを設定します。

EMB01～EMB32 : エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

MUTE : 無音。

1 0 - 4 3 . PRESET SETTING:DOWNMIX:LCOEF CH01～LCOEF CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

1 0 - 4 4 . PRESET SETTING:DOWNMIX:RCOEF CH01～RCOEF CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。

1 0 - 4 5 . PRESET SETTING:DOWNMIX:LSIGN CH01～LSIGN CH32

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

1 0 - 4 6 . PRESET SETTING:DOWNMIX:RSIGN CH01～RSIGN CH32

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。+1.0 又は-1.0 を指定します。

1 0 - 4 7 . PRESET SETTING:MIX:MIX1 SSEL CH01～MIX1 SSEL CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 のオーディオ信号の割り当てを設定します。MIX2～MIX8 も同様です。

EMB01～EMB32 : エンベデット・オーディオ入力CH01～CH32。

TT1,TT2 : テストトーン1,2。

MUTE : 無音。

1 0 - 4 8 . PRESET SETTING:MIX:MIX1 COEF CH01～MIX1 COEF CH04

任意 MIX1 を演算する CH01～CH04 の係数を設定します。設定範囲は-12.6～0dB 及び 0(ZERO)です。MIX2～MIX8 も同様です。

1 0 - 4 9 . PRESET SETTING:AUDIO DELAY

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0～2000ms で、1ms 単位で設定できます。

1 0 - 5 0 . PRESET SETTING:VIDEO:LUMINANCE

輝度を設定します。設定範囲は 0.0～200.0%まで、0.1%ステップで設定できます。

1 0 - 5 1 . PRESET SETTING:VIDEO:SATURATION

彩度を設定します。設定範囲は 0.0～200.0%まで、0.1%ステップで設定できます。

1 0 - 5 2 . PRESET SETTING: VIDEO:HUE

色相を設定します。設定範囲は-180.0～+180.0°まで、0.1°ステップで設定できます。

1 0 - 5 3 . PRESET SETTING: VIDEO:CLAMP EN

カラーコレクション後の色値のクランプを行うか行わないかを設定します。

OFF : クランプしません。

ON : クランプします。

1 0 - 5 4 . RETURN FEFAULT

現在の設定をデフォルトに戻します。プリセットの初期化は行いません。

1 0 - 5 5 . FACTORY RESET

プリセットの設定を含め工場出荷時の設定に戻します。

1 1 . SNMP

DFS5112-12G は SNMP による監視が可能です。

DFS5112-12G は[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.44.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	DFS5112-12G:44	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	DFS5112-12GD : 2 slot 12G/6G/3G/HD-SDI Frame Synchronizer Module	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	2	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス信号選択	frame=1 , module=2, freeRun=3, in1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-2199～ 0 ～2199 (pixel)	
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600～ 0 ～+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	line=1, fs=2 , aam=3, bypass=4	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFF は黒画面出力)	off=1, field=2, frame=3	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリィ制御	throuOut=1 , inhibit=2	
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	Auto=1 , f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=23, 1080PSF23=24, f1080P60A=25, f1080P59A=26, f1080P50A=27, f1080P60B=28, f1080P59B=29, f1080P50B=30, f1080P30B=31, f1080P29B=32, f1080P25B=33, f1080P24B=34, f1080P23B=35, f1080PSF29B=37, f2160P30=47, f2160P29=48, f2160P25=49, f2160P24=50, f2160P23=51, f2160P60=57, f2160P59=58, f2160P50=59	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効／無効	off=1 , on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効／無効	off=1 , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	int=1 , ltc=2, in1Atc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	off=1 , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ~23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ~59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ~59	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0 ~29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム 値ロード設定	off=1 , on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	off=1 , on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1 , on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
EmbOutG1En 20.1.200.index : EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオ グループ制御	EmbOutG1En～EmbOutG4En off=1, on=2 EmbOutG5En～EmbOutG8En off=1 , on=2	
Sub1Assign 20.1.208.index : Sub4Assign 20.1.211.index	INTEGER	R/W	4	サブイメージへのエンベデッ ト・オーディオグループ出力 設定	g1-g4=1 , g5-g8=2、 g1-g8=3, noAssign=4	
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセ ット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリ セット	p01=1 ～p12=12	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセッ ト	p01=1 ～p12=12	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセ ット	p01=1 ～p12=12	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリ セット	p01=1 ～p12=12	
Gpi1Func 20.1.240.index : Gpi6Func 20.1.245.index	INTEGER	R/W	4	GPI 機能選択	p01=1～p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, non=17	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
GpO1Func 20.1.250.index : GpO6Func 20.1.255.index	INTEGER	R/W	4	GPO 機能選択	p01=1~12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, sdiErr=17, refErr=18, ltcErr=19, lineErr=20, non=21	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index : CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dBFS)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT2Amp 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dBFS)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT1Freq 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部 出力)	emb01=1~emb32=32 , tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, non=64 (初期値はエンベスルー設定)	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソー ス選択	emb01=1~emb32=32 , tt1=49, tt2=50, non=64 (初期値はエンベスルー設定)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=64	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ 32 ~2000	
CurrentLuminance 20.1.790.index	INTEGER	R/W	4	輝度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ 1000 ~2000	
CurrentSaturation 20.1.791.index	INTEGER	R/W	4	彩度設定(%) X10 倍の値を設定	0~ 1000 ~2000	
CurrentHue 20.1.792.index	INTEGER	R/W	4	色相設定(度) X10 倍の値を設定	-1800~ 0 ~1800	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ClampEn 20.1.793.index	INTEGER	R/W	4	色値のクランプ設定	disable=1 , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラームイネーブル	disable=1, enable=2	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネーブル	disable=1, enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイネーブル	disable=1, enable=2	
AlarmEnLineError 20.1.806.index	INTEGER	R/W	4	FS ラインシンクロエラーアラームイネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラップイネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックトラップイネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップイネーブル	disable=1, enable=2	
TrapEnLineError 20.1.855.index	INTEGER	R/W	4	FS ラインシンクロエラートラップイネーブル	disable=1, enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	—	
LogSdState 29.1.20.index	INTEGER	RO	4	SD Card 状態	0=NoExist, 1=mounting, 2=reading, 3=idle ※Web から行う Log 取得は idle 時のみ可能です。	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	no=1 , yes=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
In1 30.1.2.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unknown=1, f720P60=2, f720P59=3, f720P50=4, f720P30=5, f720P29=6, f720P25=7, f720P24=8, f720P23=9, f1080I60=10, f1080I59=11, f1080I50=12, f1080P30=13, f1080P29=14, f1080P25=15, f1080P24=16, f1080P23=17, f1080PSF24=18, f1080PSF23=19, f1080P60A=20, f1080P59A=21, f1080P50A=22, f1080P60B=23, f1080P59B=24, f1080P50B=25, f1080P29B=26, f1080PSF29B=27, f2160P60=28, f2160P59=29, f2160P50=30	
Ref 30.1.3.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	

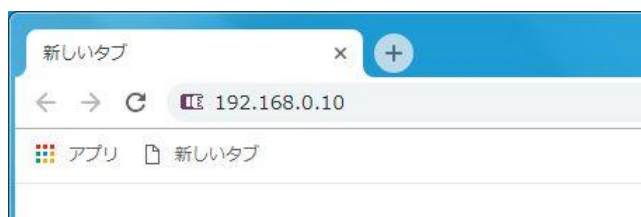
オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.10.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラーム ステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.11.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステ ータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.12.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステ ータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmFan 30.1.13.index	INTEGER	RO	4	FAN アラームステータス	normal=1, alarm=2	○
AlarmLineError 30.1.14.index	INTEGER	RO	4	FS ラインシンクロエラーアラ ームステータス	normal=1, alarm=2	○

Trap 番号	内容
dfs5112TrapSDIIn1Lock :44.0.1	TrapEnSdiIn1Unlock=Enable の時、SDI In1 がロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapRefLock :44.0.2	TrapEnRefUnlock=Enable の時、リファレンスがロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapLtcLock :44.0.3	TrapEnLtcUnlock=Enable の時、LTC がロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapFanRecover :44.0.4	FAN が正常に回転したことを示すトラップ
dfs5112TrapLineSynchronize :44.0.5	TrapEnLineError=Enable の時、FS ラインシンクロが正常動作したことを示すトラップ
dfs5112TrapSDIIn1Unlock :44.0.11	TrapEnSdiIn1Unlock=Enable の時、SDI In1 がアンロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapRefUnlock :44.0.12	TrapEnRefUnlock=Enable の時、リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapLtcUnlock :44.0.13	TrapEnLtcUnlock=Enable の時、LTC がアンロックしたことを示すトラップ
dfs5112TrapFanAlarm :44.0.14	FAN が停止したことを示すトラップ
dfs5112TrapLineSynchronizeError :44.0.15	TrapEnLineError=Enable の時、FS ラインシンクロが引き込み範囲から外れたことを示すトラップ

1 2 . WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

1 2 – 1 . モジュール画面

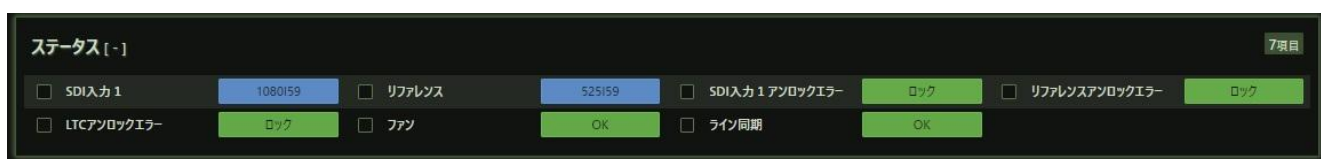
DFS5112-12G が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。



ステータスには、各種モジュールの状態を、各種設定には、モジュールに設定できる項目を、製品情報には、モジュール名、プログラムバージョン等の製品情報を表示します。'+ 'マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。

1 2 – 2 . ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。



1 2 – 2 – 1 . SDI 入力 1

SDI-IN に入力されている信号フォーマットを表示します。アンロック /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50B /1080P30B /1080P29B /1080P25B /1080P24B /1080P23B /1080PSF29B /2160P30 /2160P29 /2160P25 /2160P24 /2160P23 /2160P60 /2160P59 /2160P50 と表示します。

1 2 – 2 – 2 . リファレンス

リファレンスに入力されている信号のフォーマットを表示します。アンロック /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080I59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25

/1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 と表示されます。

1 2 - 2 - 3. SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN の状態を、ロック、アンロックから表示します。

1 2 - 2 - 4. リファレンスアンロックエラー

リファレンスの状態を、ロック、アンロックから表示します。

1 2 - 2 - 5. LTC アンロックエラー

LTC の状態を、ロック、アンロックから表示します。

1 2 - 2 - 6. ファン

FAN の回転数により、エラー状態かエラーなし状態を表示します。

1 2 - 2 - 7. ライン同期

ラインシンクロが、エラー状態かエラーなし状態を表示します。

1 2 - 3. 各種設定

各種設定には、モジュールに設定可能な項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。設定した時点で、モジュールには設定が反映されます。更新ボタンのあるプリセットの読み出しと、書き込みはプルダウンメニューでプリセット番号を選んだ時点では動作せず、更新ボタンのクリック時に指定されたプリセット番号の読み出し、書き込みを行います。

各種設定 [-]												410項目			
☐ リファレンス選択	フレーム	☐ 水平位相	0	☐ 垂直位相	0	☐ FSモード	フレームシンクロナイ	☐ プリーズ動作	フレーム	☐ アンシラリー出力	スルー	☐ システムフォーマット	Auto	☐ ATC(LTC)出力	オフ
☐ ATC(VITC)出力	オフ	☐ TC選択	内部TC	☐ TCオフセット制御	オフ	☐ TCオフセット (時)	0	☐ TCオフセット (分)	0	☐ TCオフセット (秒)	0	☐ TCオフセット (フレーム)	2	☐ TCロスト時動作	自走
☐ TC初期値 (時)	0	☐ TC初期値 (分)	0	☐ TC初期値 (秒)	0	☐ TC初期値 (フレーム)	0	☐ TC初期値 (BG1)	0	☐ TC初期値 (BG2)	0	☐ TC初期値 (BG3)	0	☐ TC初期値 (BG4)	0
☐ TC初期値 (BG5)	0	☐ TC初期値 (BG6)	0	☐ TC初期値 (BG7)	0	☐ TC初期値 (BG8)	0	☐ TC初期値 (BGフラグ)	0	☐ Tフレーム初期値ロード	オフ	☐ Tドロップフレーム有効	オン	☐ TC自走時初期値ロード	オフ
☐ TC自走開始	オフ	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp1制御	オン	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp2制御	オン	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp3制御	オン	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp4制御	オン	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp5制御	オフ	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp6制御	オフ	☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp7制御	オフ
☐ 出力エンベデッド・オーディオ Grp8制御	オフ	☐ サブイメージ1・オーディオ Grp設定	グループ1-4	☐ サブイメージ2・オーディオ Grp設定	グループ1-4	☐ サブイメージ3・オーディオ Grp設定	グループ1-4	☐ サブイメージ4・オーディオ Grp設定	グループ1-4	☐ 自動プリセット切替制御	オフ	☐ 音声モード1Mプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード2Mプリセット設定	プリセット1
☐ 音声モード3Mプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード4Mプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード1Sプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード2Sプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード1S+2Mプリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード5.1プリセット設定	プリセット1	☐ 音声モード5.1+5Sプリセット設定	プリセット1	☐ その他音声モードプリセット設定	プリセット1
☐ GPI1機能	なし	☐ GPI2機能	なし	☐ GPI3機能	なし	☐ GPI4機能	なし	☐ GPI5機能	なし	☐ GPI6機能	なし	☐ GPI7機能	なし	☐ GPI8機能	なし
☐ GPI9機能	なし	☐ GPI10機能	なし	☐ GPI11機能	なし	☐ GPI12機能	なし	☐ GPI13機能	なし	☐ GPI14機能	なし	☐ GPI15機能	なし	☐ GPI16機能	なし
☐ GPI17機能	なし	☐ GPI18機能	なし	☐ GPI19機能	なし	☐ GPI20機能	なし	☐ GPI21機能	なし	☐ GPI22機能	なし	☐ GPI23機能	なし	☐ GPI24機能	なし
☐ GPI25機能	なし	☐ GPI26機能	なし	☐ GPI27機能	なし	☐ GPI28機能	なし	☐ GPI29機能	なし	☐ GPI30機能	なし	☐ GPI31機能	なし	☐ GPI32機能	なし
☐ GPI33機能	なし	☐ GPI34機能	なし	☐ GPI35機能	なし	☐ GPI36機能	なし	☐ GPI37機能	なし	☐ GPI38機能	なし	☐ GPI39機能	なし	☐ GPI40機能	なし
☐ GPI41機能	なし	☐ GPI42機能	なし	☐ GPI43機能	なし	☐ GPI44機能	なし	☐ GPI45機能	なし	☐ GPI46機能	なし	☐ GPI47機能	なし	☐ GPI48機能	なし
☐ GPI49機能	なし	☐ GPI50機能	なし	☐ GPI51機能	なし	☐ GPI52機能	なし	☐ GPI53機能	なし	☐ GPI54機能	なし	☐ GPI55機能	なし	☐ GPI56機能	なし
☐ GPI57機能	なし	☐ GPI58機能	なし	☐ GPI59機能	なし	☐ GPI60機能	なし	☐ GPI61機能	なし	☐ GPI62機能	なし	☐ GPI63機能	なし	☐ GPI64機能	なし
☐ GPI65機能	なし	☐ GPI66機能	なし	☐ GPI67機能	なし	☐ GPI68機能	なし	☐ GPI69機能	なし	☐ GPI70機能	なし	☐ GPI71機能	なし	☐ GPI72機能	なし
☐ GPI73機能	なし	☐ GPI74機能	なし	☐ GPI75機能	なし	☐ GPI76機能	なし	☐ GPI77機能	なし	☐ GPI78機能	なし	☐ GPI79機能	なし	☐ GPI80機能	なし
☐ GPI81機能	なし	☐ GPI82機能	なし	☐ GPI83機能	なし	☐ GPI84機能	なし	☐ GPI85機能	なし	☐ GPI86機能	なし	☐ GPI87機能	なし	☐ GPI88機能	なし
☐ GPI89機能	なし	☐ GPI90機能	なし	☐ GPI91機能	なし	☐ GPI92機能	なし	☐ GPI93機能	なし	☐ GPI94機能	なし	☐ GPI95機能	なし	☐ GPI96機能	なし
☐ GPI97機能	なし	☐ GPI98機能	なし	☐ GPI99機能	なし	☐ GPI100機能	なし	☐ GPI101機能	なし	☐ GPI102機能	なし	☐ GPI103機能	なし	☐ GPI104機能	なし
☐ GPI105機能	なし	☐ GPI106機能	なし	☐ GPI107機能	なし	☐ GPI108機能	なし	☐ GPI109機能	なし	☐ GPI110機能	なし	☐ GPI111機能	なし	☐ GPI112機能	なし
☐ GPI113機能	なし	☐ GPI114機能	なし	☐ GPI115機能	なし	☐ GPI116機能	なし	☐ GPI117機能	なし	☐ GPI118機能	なし	☐ GPI119機能	なし	☐ GPI120機能	なし
☐ GPI121機能	なし	☐ GPI122機能	なし	☐ GPI123機能	なし	☐ GPI124機能	なし	☐ GPI125機能	なし	☐ GPI126機能	なし	☐ GPI127機能	なし	☐ GPI128機能	なし
☐ GPI129機能	なし	☐ GPI130機能	なし	☐ GPI131機能	なし	☐ GPI132機能	なし	☐ GPI133機能	なし	☐ GPI134機能	なし	☐ GPI135機能	なし	☐ GPI136機能	なし
☐ GPI137機能	なし	☐ GPI138機能	なし	☐ GPI139機能	なし	☐ GPI140機能	なし	☐ GPI141機能	なし	☐ GPI142機能	なし	☐ GPI143機能	なし	☐ GPI144機能	なし
☐ GPI145機能	なし	☐ GPI146機能	なし	☐ GPI147機能	なし	☐ GPI148機能	なし	☐ GPI149機能	なし	☐ GPI150機能	なし	☐ GPI151機能	なし	☐ GPI152機能	なし
☐ GPI153機能	なし	☐ GPI154機能	なし	☐ GPI155機能	なし	☐ GPI156機能	なし	☐ GPI157機能	なし	☐ GPI158機能	なし	☐ GPI159機能	なし	☐ GPI160機能	なし
☐ GPI161機能	なし	☐ GPI162機能	なし	☐ GPI163機能	なし	☐ GPI164機能	なし	☐ GPI165機能	なし	☐ GPI166機能	なし	☐ GPI167機能	なし	☐ GPI168機能	なし
☐ GPI169機能	なし	☐ GPI170機能	なし	☐ GPI171機能	なし	☐ GPI172機能	なし	☐ GPI173機能	なし	☐ GPI174機能	なし	☐ GPI175機能	なし	☐ GPI176機能	なし
☐ GPI177機能	なし	☐ GPI178機能	なし	☐ GPI179機能	なし	☐ GPI180機能	なし	☐ GPI181機能	なし	☐ GPI182機能	なし	☐ GPI183機能	なし	☐ GPI184機能	なし
☐ GPI185機能	なし	☐ GPI186機能	なし	☐ GPI187機能	なし	☐ GPI188機能	なし	☐ GPI189機能	なし	☐ GPI190機能	なし	☐ GPI191機能	なし	☐ GPI192機能	なし
☐ GPI193機能	なし	☐ GPI194機能	なし	☐ GPI195機能	なし	☐ GPI196機能	なし	☐ GPI197機能	なし	☐ GPI198機能	なし	☐ GPI199機能	なし	☐ GPI200機能	なし
☐ GPI201機能	なし	☐ GPI202機能	なし	☐ GPI203機能	なし	☐ GPI204機能	なし	☐ GPI205機能	なし	☐ GPI206機能	なし	☐ GPI207機能	なし	☐ GPI208機能	なし
☐ GPI209機能	なし	☐ GPI210機能	なし	☐ GPI211機能	なし	☐ GPI212機能	なし	☐ GPI213機能	なし	☐ GPI214機能	なし	☐ GPI215機能	なし	☐ GPI216機能	なし
☐ GPI217機能	なし	☐ GPI218機能	なし	☐ GPI219機能	なし	☐ GPI220機能	なし	☐ GPI221機能	なし	☐ GPI222機能	なし	☐ GPI223機能	なし	☐ GPI224機能	なし
☐ GPI225機能	なし	☐ GPI226機能	なし	☐ GPI227機能	なし	☐ GPI228機能	なし	☐ GPI229機能	なし	☐ GPI230機能	なし	☐ GPI231機能	なし	☐ GPI232機能	なし
☐ GPI233機能	なし	☐ GPI234機能	なし	☐ GPI235機能	なし	☐ GPI236機能	なし	☐ GPI237機能	なし	☐ GPI238機能	なし	☐ GPI239機能	なし	☐ GPI240機能	なし
☐ GPI241機能	なし	☐ GPI242機能	なし	☐ GPI243機能	なし	☐ GPI244機能	なし	☐ GPI245機能	なし	☐ GPI246機能	なし	☐ GPI247機能	なし	☐ GPI248機能	なし
☐ GPI249機能	なし	☐ GPI250機能	なし	☐ GPI251機能	なし	☐ GPI252機能	なし	☐ GPI253機能	なし	☐ GPI254機能	なし	☐ GPI255機能	なし	☐ GPI256機能	なし
☐ GPI257機能	なし	☐ GPI258機能	なし	☐ GPI259機能	なし	☐ GPI260機能	なし	☐ GPI261機能	なし	☐ GPI262機能	なし	☐ GPI263機能	なし	☐ GPI264機能	なし
☐ GPI265機能	なし	☐ GPI266機能	なし	☐ GPI267機能	なし	☐ GPI268機能	なし	☐ GPI269機能	なし	☐ GPI270機能	なし	☐ GPI271機能	なし	☐ GPI272機能	なし
☐ GPI273機能	なし	☐ GPI274機能	なし	☐ GPI275機能	なし	☐ GPI276機能	なし	☐ GPI277機能	なし	☐ GPI278機能	なし	☐ GPI279機能	なし	☐ GPI280機能	なし
☐ GPI281機能	なし	☐ GPI282機能	なし	☐ GPI283機能	なし	☐ GPI284機能	なし	☐ GPI285機能	なし	☐ GPI286機能	なし	☐ GPI287機能	なし	☐ GPI288機能	なし
☐ GPI289機能	なし	☐ GPI290機能	なし	☐ GPI291機能	なし	☐ GPI292機能	なし	☐ GPI293機能	なし	☐ GPI294機能	なし	☐ GPI295機能	なし	☐ GPI296機能	なし
☐ GPI297機能	なし	☐ GPI298機能	なし	☐ GPI299機能	なし	☐ GPI300機能	なし	☐ GPI301機能	なし	☐ GPI302機能	なし	☐ GPI303機能	なし	☐ GPI304機能	なし
☐ GPI305機能	なし	☐ GPI306機能	なし	☐ GPI307機能	なし	☐ GPI308機能	なし	☐ GPI309機能	なし	☐ GPI310機能	なし	☐ GPI311機能	なし	☐ GPI312機能	なし
☐ GPI313機能	なし	☐ GPI314機能	なし	☐ GPI315機能	なし	☐ GPI316機能	なし	☐ GPI317機能	なし	☐ GPI318機能	なし	☐ GPI319機能	なし	☐ GPI320機能	なし
☐ GPI321機能	なし	☐ GPI322機能	なし	☐ GPI323機能	なし	☐ GPI324機能	なし	☐ GPI325機能	なし	☐ GPI326機能	なし	☐ GPI327機能	なし	☐ GPI328機能	なし
☐ GPI329機能	なし	☐ GPI330機能	なし	☐ GPI331機能	なし	☐ GPI332機能	なし	☐ GPI333機能	なし	☐ GPI334機能	なし	☐ GPI335機能	なし	☐ GPI336機能	なし
☐ GPI337機能	なし	☐ GPI338機能	なし	☐ GPI339機能	なし	☐ GPI340機能	なし	☐ GPI341機能	なし	☐ GPI342機能	なし	☐ GPI343機能	なし	☐ GPI344機能	なし
☐ GPI345機能	なし	☐ GPI346機能	なし	☐ GPI347機能	なし	☐ GPI348機能	なし	☐ GPI349機能	なし	☐ GPI350機能	なし	☐ GPI351機能	なし	☐ GPI352機能	なし
☐ GPI353機能	なし	☐ GPI354機能	なし	☐ GPI355機能	なし	☐ GPI356機能	なし	☐ GPI357機能	なし	☐ GPI358機能	なし	☐ GPI359機能	なし	☐ GPI360機能	なし
☐ GPI361機能	なし	☐ GPI362機能	なし	☐ GPI363機能	なし	☐ GPI364機能	なし	☐ GPI365機能	なし	☐ GPI366機能	なし	☐ GPI367機能	なし	☐ GPI368機能	なし
☐ GPI369機能	なし	☐ GPI370機能	なし	☐ GPI371機能	なし	☐ GPI372機能	なし	☐ GPI373機能	なし	☐ GPI374機能	なし	☐ GPI375機能	なし	☐ GPI376機能	なし
☐ GPI377機能	なし	☐ GPI378機能	なし	☐ GPI379機能	なし	☐ GPI380機能	なし	☐ GPI381機能	なし	☐ GPI382機能	なし	☐ GPI383機能	なし	☐ GPI384機能	なし
☐ GPI385機能	なし	☐ GPI386機能	なし	☐ GPI387機能	なし	☐ GPI388機能	なし	☐ GPI389機能	なし	☐ GPI390機能	なし	☐ GPI391機能	なし	☐ GPI392機能	なし
☐ GPI393機能	なし	☐ GPI394機能	なし	☐ GPI395機能	なし	☐ GPI396機能	なし	☐ GPI397機能	なし	☐ GPI398機能	なし	☐ GPI399機能	なし	☐ GPI400機能	なし
☐ GPI401機能	なし	☐ GPI402機能	なし	☐ GPI403機能	なし	☐ GPI404機能	なし	☐ GPI405機能	なし	☐ GPI406機能	なし	☐ GPI407機能	なし	☐ GPI408機能	なし
☐ GPI409機能	なし	☐ GPI410機能	なし	☐ GPI411機能	なし	☐ GPI412機能	なし	☐ GPI413機能	なし	☐ GPI414機能	なし	☐ GPI415機能	なし	☐ GPI416機能	なし
☐ GPI417機能	なし	☐ GPI418機能	なし	☐ GPI419機能	なし	☐ GPI420機能	なし	☐ GPI421機能	なし	☐ GPI422機能	なし	☐ GPI423機能	なし	☐ GPI424機能	なし
☐ GPI425機能	なし	☐ GPI426機能	なし	☐ GPI427機能	なし	☐ GPI428機能	なし	☐ GPI429機能	なし	☐ GPI430機能	なし	☐ GPI431機能	なし	☐ GPI432機能	なし
☐ GPI433機能	なし	☐ GPI434機能	なし	☐ GPI435機能	なし	☐ GPI436機能	なし	☐ GPI437機能	なし	☐ GPI438機能	なし	☐ GPI439機能	なし	☐ GPI440機能	なし
☐ GPI441機能	なし	☐ GPI442機能	なし	☐ GPI443機能	なし	☐ GPI444機能	なし	☐ GPI44							

☐	テストトーン1 周波数	1kHz	☒	☐	テストトーン2 周波数	800Hz	☒	☐	リマップ出力CH01選択	Embln CH01	☒	☐	リマップ出力CH02選択	Embln CH02	☒
☐	リマップ出力CH03選択	Embln CH03	☒	☐	リマップ出力CH04選択	Embln CH04	☒	☐	リマップ出力CH05選択	Embln CH05	☒	☐	リマップ出力CH06選択	Embln CH06	☒
☐	リマップ出力CH07選択	Embln CH07	☒	☐	リマップ出力CH08選択	Embln CH08	☒	☐	リマップ出力CH09選択	Embln CH09	☒	☐	リマップ出力CH10選択	Embln CH10	☒
☐	リマップ出力CH11選択	Embln CH11	☒	☐	リマップ出力CH12選択	Embln CH12	☒	☐	リマップ出力CH13選択	Embln CH13	☒	☐	リマップ出力CH14選択	Embln CH14	☒
☐	リマップ出力CH15選択	Embln CH15	☒	☐	リマップ出力CH16選択	Embln CH16	☒	☐	リマップ出力CH17選択	Embln CH17	☒	☐	リマップ出力CH18選択	Embln CH18	☒
☐	リマップ出力CH19選択	Embln CH19	☒	☐	リマップ出力CH20選択	Embln CH20	☒	☐	リマップ出力CH21選択	Embln CH21	☒	☐	リマップ出力CH22選択	Embln CH22	☒
☐	リマップ出力CH23選択	Embln CH23	☒	☐	リマップ出力CH24選択	Embln CH24	☒	☐	リマップ出力CH25選択	Embln CH25	☒	☐	リマップ出力CH26選択	Embln CH26	☒
☐	リマップ出力CH27選択	Embln CH27	☒	☐	リマップ出力CH28選択	Embln CH28	☒	☐	リマップ出力CH29選択	Embln CH29	☒	☐	リマップ出力CH30選択	Embln CH30	☒
☐	リマップ出力CH31選択	Embln CH31	☒	☐	リマップ出力CH32選択	Embln CH32	☒	☐	ダウンミックスCH01 ソース 選択	Embln CH01	☒	☐	ダウンミックスCH02 ソース 選択	Embln CH02	☒
☐	ダウンミックスCH03 ソース 選択	Embln CH03	☒	☐	ダウンミックスCH04 ソース 選択	Embln CH04	☒	☐	ダウンミックスCH05 ソース 選択	Embln CH05	☒	☐	ダウンミックスCH06 ソース 選択	Embln CH06	☒
☐	ダウンミックスCH07 ソース 選択	Embln CH07	☒	☐	ダウンミックスCH08 ソース 選択	Embln CH08	☒	☐	ダウンミックスCH09 ソース 選択	Embln CH09	☒	☐	ダウンミックスCH10 ソース 選択	Embln CH10	☒
☐	ダウンミックスCH11 ソース 選択	Embln CH11	☒	☐	ダウンミックスCH12 ソース 選択	Embln CH12	☒	☐	ダウンミックスCH13 ソース 選択	Embln CH13	☒	☐	ダウンミックスCH14 ソース 選択	Embln CH14	☒
☐	ダウンミックスCH15 ソース 選択	Embln CH15	☒	☐	ダウンミックスCH16 ソース 選択	Embln CH16	☒	☐	ダウンミックスCH17 ソース 選択	Embln CH17	☒	☐	ダウンミックスCH18 ソース 選択	Embln CH18	☒
☐	ダウンミックスCH19 ソース 選択	Embln CH19	☒	☐	ダウンミックスCH20 ソース 選択	Embln CH20	☒	☐	ダウンミックスCH21 ソース 選択	Embln CH21	☒	☐	ダウンミックスCH22 ソース 選択	Embln CH22	☒
☐	ダウンミックスCH23 ソース 選択	Embln CH23	☒	☐	ダウンミックスCH24 ソース 選択	Embln CH24	☒	☐	ダウンミックスCH25 ソース 選択	Embln CH25	☒	☐	ダウンミックスCH26 ソース 選択	Embln CH26	☒
☐	ダウンミックスCH27 ソース 選択	Embln CH27	☒	☐	ダウンミックスCH28 ソース 選択	Embln CH28	☒	☐	ダウンミックスCH29 ソース 選択	Embln CH29	☒	☐	ダウンミックスCH30 ソース 選択	Embln CH30	☒
☐	ダウンミックスCH31 ソース 選択	Embln CH31	☒	☐	ダウンミックスCH32 ソース 選択	Embln CH32	☒	☐	ダウンミックスCH01 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH02 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH03 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH04 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH05 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH06 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH07 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH08 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH09 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH10 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH11 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH12 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH13 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH14 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH15 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH16 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH17 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH18 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH19 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH20 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH21 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH22 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH23 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH24 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH25 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH26 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH27 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH28 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH29 Lch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH30 Lch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH31 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH32 Lch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH01 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH02 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH03 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH04 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH05 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH06 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH07 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH08 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH09 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH10 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH11 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH12 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH13 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH14 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH15 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH16 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH17 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH18 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH19 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH20 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH21 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH22 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH23 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH24 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH25 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH26 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH27 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH28 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH29 Rch演 算係数	-127	☐	ダウンミックスCH30 Rch演 算係数	-127	☐	
☐	ダウンミックスCH31 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH32 Rch演 算係数	-127	☐	☐	ダウンミックスCH01 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH02 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH03 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH04 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH05 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH06 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH07 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH08 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH09 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH10 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH11 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH12 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH13 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH14 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH15 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH16 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH17 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH18 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH19 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH20 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH21 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH22 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH23 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH24 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH25 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH26 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH27 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH28 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH29 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH30 Lch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH31 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH32 Lch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH01 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH02 Rch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH03 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH04 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH05 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH06 Rch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH07 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH08 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH09 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH10 Rch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH11 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH12 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH13 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH14 Rch符 号	1	☒
☐	ダウンミックスCH15 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH16 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH17 Rch符 号	1	☒	☐	ダウンミックスCH18 Rch符 号	1	☒

☐ ダウンミックスCH19 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH20 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH21 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH22 Rch符号	1
☐ ダウンミックスCH23 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH24 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH25 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH26 Rch符号	1
☐ ダウンミックスCH27 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH28 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH29 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH30 Rch符号	1
☐ ダウンミックスCH31 Rch符号	1	☐ ダウンミックスCH32 Rch符号	1	☐ 音声ミックス1 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス1 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス1 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス2 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス2 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス3 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス3 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス4 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス4 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス5 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス5 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス6 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス6 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス7 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス7 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH01 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH02 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス8 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH04 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH01 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH02 係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス8 CH03 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH04 係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声遅延(ms)	32	☐ 輝度(*0.1%)	1000
☐ 彩度(*0.1%)	1000	☐ 色相(*0.1deg.)	0	☐ クランプ	無効	☐ アラーム設定@SDI入力1アンロックエラー	有効
☐ アラーム設定@リファレンスアンロックエラー	有効	☐ アラーム設定@LTCアンロックエラー	有効	☐ アラーム設定@ラインエラー	有効	☐ アラーム設定@ファンエラー	有効
☐ トラップ設定@SDI入力1アンロックエラー	有効	☐ トラップ設定@リファレンスアンロックエラー	有効	☐ トラップ設定@LTCアンロックエラー	有効	☐ トラップ設定@ラインエラー	有効
☐ トラップ設定@ファンエラー	有効	☐ 初期設定に戻す	初期化				

1 2 - 3 - 1. リファレンス選択

リファレンス信号を選択します。

- フレーム : C5000 フレームに入力されたリファレンス信号に同期します。
- モジュール : REF-IN (本モジュール) に入力されたリファレンス信号に同期します。
- フリーラン : フリーランで動作します。
- 入力 1 : SDI-IN 入力信号に同期します。

1 2 - 3 - 2. 水平位相、垂直位相

SDI 出力の水平位相、垂直位相を設定します。

- 水平位相 : -2199~+2199 ピクセル。
- 垂直位相 : -600~+600 ライン。

1 2 - 3 - 3. FS モード

シンクロナス・モードの設定を行います。

- ラインシンクロナス・モード : ラインシンクロナス・モードで動作します。
出力タイミングの約 10 ライン前までの入力信号を引き込みます。
- フレームシンクロナス・モード : フレームシンクロナス・モードで動作します。最大 1 フレームの遅延が発生します。
- 自動音声ミュートモード : 自動オーディオ・ミュート・モードで動作します。

入力信号の切り替わりでのエラーを検出し出力音声にミュート処理を行います。

バイパス・モード : 入力信号に同期し最小遅延で出力します。水平位相、垂直位相の調整は無効となります。

1 2 - 3 - 4. フリーズ動作

フレームシンクロナス・モード/自動音声ミュートモードでの入力信号エラー時のフリーズ動作を設定します。

オフ : フリーズ時に黒画面を出力します。

フィールド : 最後のフィールド映像でフリーズします。

フレーム : 最後のフレーム映像でフリーズします。

1 2 - 3 - 5. アンシラリー出力

エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットの出力を設定します。

スルー : エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットを出力します。

オフ : エンベデット・オーディオ、タイムコード以外のアンシラリー・パケットを出力しません。

1 2 - 3 - 6. システムフォーマット

SDI 出力のシステムフォーマットを設定します。

AUTO : 入力 SDI 信号のフォーマットを自動検出し、システムフォーマットとします。

その他、固定フォーマットで指定でき、指定できるフォーマットは以下の通りです。

720P60, 720P59, 720P50, 720P30, 720P29, 720P25, 720P24, 720P23, 1080I60, 1080I59, 1080I50, 1080P30, 1080P29, 1080P25, 1080P24, 1080P23, 1080PSF24, 1080PSF23, 1080P60A, 1080P59A, 1080P50A, 1080P60B, 1080P59B, 1080P50B, 1080P30B, 1080P29B, 1080P25B, 1080P24B, 1080P23B, 1080PSF29B, 2160P30, 2160P29, 2160P25, 2160P24, 2160P23, 2160P60, 2160P59, 2160P50

注意 : 2160P60, 2160P50 で使用する場合は AUTO でなく、明示的に 2160P60, 2160P50 と必ず設定してください。

1 2 - 3 - 7. ATC(LTC)出力

アンシラリー・タイムコード ATC LTC の出力を設定します。

オフ : ATC LTC を出力しません。

オン : ATC LTC を出力します。

1 2 - 3 - 8. ATC(VITC)出力

アンシラリー・タイムコード ATC VITC の出力を設定します。

オフ : ATC VITC を出力しません。

オン : ATC VITC を出力します。

1 2 - 3 - 9. TC 選択

内蔵 TC の動作を設定します。

内部 TC : 自走でタイムコードを生成します。

フレーム入力 TC : フレームに入力された LTC 信号に同期しタイムコードを生成します。

ATC : SDI 入力にエンベデットされたアンシラリータイムコード(ATC)に同期しタイムコードを生成します。

1 2 - 3 - 10. TC オフセット制御

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC の時にオフセットするかを設定します。

オフ : オフセットしません。

オン : TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)の値でオフセットします。

1 2 - 3 - 11. TC オフセット(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC オフセット値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

1 2 - 3 - 1 2 . TC ロスト時動作

TC 選択が、フレーム入力 TC あるいは ATC 時に、入力 LTC あるいは ATC がアンロックとなった場合の動作を指定します。

- 自走 : 自走でカウント動作を継続します。
- 停止 : カウント動作を停止します。
- パケットなし : タイムコードパケットを出力しません。

1 2 - 3 - 1 3 . TC 初期値(時)/(分)/(秒)/(フレーム)

TC 選択が、内部 TC の時に初期値を、時(0~23)、分(0~59)、秒(0~59)、フレーム(0~29)で設定します。

1 2 - 3 - 1 4 . TC 初期値(BG1)~(BG8)、(BG フラグ)

TC 選択が、内部 TC 時のバイナリグループ 1 ~グループ 8 を設定します。設定できる範囲は 0~15 です。

また、バイナリグループ・フラグ(BG フラグ)を設定します。設定できる範囲は 0~7 です。

1 2 - 3 - 1 5 . TC フレーム初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時、初期値のロード時にフレーム値をロードするか、しないかを設定します。

- オフ : フレーム値をロードしません。フレーム値はカレントの値が継続されます。
- オン : TC 初期値(フレーム)をロードします。

1 2 - 3 - 1 6 . TC ドロップフレーム有効

TC 選択が、内部 TC の時にドロップフレーム動作を設定します。

- オフ : ノン・ドロップフレームで動作します。
- オン : ドロップフレームで動作します。

1 2 - 3 - 1 7 . TC 自走時初期値ロード

TC 選択が、内部 TC の時に初期値をロードするか、しないかを設定します。

- オフ : 初期値をロードしません。
- オン : 初期値をロードします。

1 2 - 3 - 1 8 . TC 自走開始

自走 TC の開始、停止を設定します。

- オフ : 停止します。
- オン : 開始します。

1 2 - 3 - 1 9 . 出力エンベデッド・オーディオ Grp1~Grp8 制御

エンベデッド・オーディオ・グループ 1~グループ 8 の出力を設定します。

- オフ : エンベデッド・オーディオ・グループ n を出力しません。
- オン : エンベデッド・オーディオ・グループ n を出力します。

1 2 - 3 - 2 0 . サブイメージ 1・オーディオ Grp 設定

HD、3G レベル A、3G レベル B のリンク A、6G/12G サブイメージ 1 にエンベデットするグループを設定します。

- グループ 1-4 : エンベデット・オーディオ・グループ 1~4 を重畳します。
- グループ 5-8 : エンベデット・オーディオ・グループ 5~8 を重畳します。
- グループ 1-8 : エンベデット・オーディオ・グループ 1~8 を重畳します
- なし : エンベデット・オーディオを重畳しません。

1 2 - 3 - 2 1 . サブイメージ 2・オーディオ Grp 設定

3G レベル B のリンク B、6G/12G サブイメージ 2 にエンベデットするグループを設定します。

- グループ 1-4 : エンベデット・オーディオ・グループ 1~4 を重畳します。
- グループ 5-8 : エンベデット・オーディオ・グループ 5~8 を重畳します。

- グループ 1-8 : エンベデッド・オーディオ・グループ 1～8 を重畳します
 なし : エンベデッド・オーディオを重畳しません。

1 2 - 3 - 2 2 . サブイメージ 3、4・オーディオ Grp 設定

6G/12G サブイメージ 3 あるいは 4 にエンベデッドするグループを設定します。

- グループ 1-4 : エンベデッド・オーディオ・グループ 1～4 を重畳します。
 グループ 5-8 : エンベデッド・オーディオ・グループ 5～8 を重畳します。
 グループ 1-8 : エンベデッド・オーディオ・グループ 1～8 を重畳します
 なし : エンベデッド・オーディオを重畳しません。

1 2 - 3 - 2 3 . 自動プリセット切替制御

局間制御パケットの音声モードによる自動プリセット切替を設定します。

- オフ : 音声モードによる自動プリセット切替を行いません。
 オン : 音声モードによる自動プリセット切替を行います。

1 2 - 3 - 2 4 . 音声モード 1M/2M/3M/4M/1S/2S/1S+2M/5.1/5.1+S/その他 プリセット設定

音声モード 1 M～4M、1S、2S、1S+2M、5.1、5.1+S、その他 時のプリセット番号を設定します。プリセット 1～12 を選択します。

1 2 - 3 - 2 5 . GPI1～GPI6 機能

GPI1～GPI6 の機能を設定します。

- プリセット 1～12 : 指定プリセットをロードします。
 フリーズ : 出力 SDI をフリーズします。
 スルー : 出力 SDI に入力 SDI をスルーします。
 ミュート : 出力音声をミュートします。
 TC セット : TC 選択が内部 TC の時に初期値をロードします。
 なし : 何も動作しません。

1 2 - 3 - 2 6 . GPO1～GPO6 機能

GPO1～GPO6 の機能を設定します。

- プリセット 1～12 : 指定プリセット時に ON します。
 フリーズ : 出力フリーズ時に ON します。
 スルー : 出力 SDI に入力 SDI をスルー出力時に ON します。
 ミュート : 出力音声をミュート時に ON します。
 TC セット : TC 選択が内部 TC 時に初期値をロードしたときに ON します。
 SDI エラー : SDI エラー時に ON します。
 リファレンスエラー : REF エラー時に ON します。
 LTC エラー : LTC エラー時に ON します。
 ラインエラー : ラインシンクロナイズ・モード時に引き込みエラー時に ON します。
 ファンエラー : ファン動作停止時に ON します。
 なし : 何も動作しません。

1 2 - 3 - 2 7 . プリセットロード

プリセットをロードします。プリセット 1～12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

1 2 - 3 - 2 8 . プリセットセーブ

プリセットをセーブします。プリセット 1～12 を選択し、更新ボタンをクリックします。

1 2 - 3 - 2 9. インベ入力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)

エンベデッド音声入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

1 2 - 3 - 3 0. インベ出力 CH01～CH32 ゲイン調整(*0.1dB)

エンベデッド音声出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

1 2 - 3 - 3 1. テストトーン 1、2 振幅(dBFS)

テストトーン 1、2 の出力レベルを設定します。設定範囲は、-63～0dBFS までで、1dBFS 単位で設定できます。

1 2 - 3 - 3 2. テストトーン 1、2 周波数

テストトーン 1、2 の周波数を設定します。設定できる周波数は、400Hz、800Hz、1000Hz、2000Hz です

1 2 - 3 - 3 3. リマップ出力 CH01～CH32 選択

エンベット・オーディオ出力 CH01～CH32 のオーディオ信号を割り当てます。

EmbIn CH01～CH32	: インベット・オーディオ CH01～CH16
Test Tone1、2	: テストトーン 1、2
Downmix L、R	: ダウンミックス音声
Mix1～8	: 任意 MIX 音声 1～8
Mute	: 無音

1 2 - 3 - 3 4. ダウンミックス CH01～CH32 ソース選択

ダウンミックス演算する CH01～CH32 のオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32	: インベット・オーディオ CH01～CH16
Test Tone1、2	: テストトーン 1、2
Mute	: 無音

1 2 - 3 - 3 5. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 演算係数

ダウンミックス演算を行う、Lch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

1 2 - 3 - 3 6. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 演算係数

ダウンミックス演算を行う、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

1 2 - 3 - 3 7. ダウンミックス CH01～CH32 Lch 符号

ダウンミックス Lch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

1 2 - 3 - 3 8. ダウンミックス CH01～CH32 Rch 符号

ダウンミックス Rch を演算する CH01～CH32 の符号を設定します。1 あるいは-1 を指定します。

1 2 - 3 - 3 9. 音声ミックス 1 CH01 ソース選択～音声ミックス 1 CH04 ソース選択

音声ミックスするオーディオ信号を以下より割り当てます。

EmbIn CH01～CH32	: インベット・オーディオ CH01～CH16
Test Tone1、2	: テストトーン 1、2
Mute	: 無音

※音声ミックス 2～8 ソース選択 も同様です。

1 2 - 3 - 4 0. 音声ミックス 1 CH01 係数(*0.1dB)～音声ミックス 1 CH04 係数(*0.1dB)

音声ミックスする際の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係

数 0 を設定します。

※音声ミックス 2～8 係数 も同様です。

1 2 - 3 - 4 1. 音声遅延(ms)

オーディオの遅延量を設定します。設定範囲は 0～2000ms で、1ms 単位で設定できます。

1 2 - 3 - 4 2. 輝度(*0.1%)

輝度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です。0.1%単位で設定できます。

1 2 - 3 - 4 3. 彩度(*0.1%)

彩度調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、0～2000(200.0%)です。0.1%単位で設定できます。

1 2 - 3 - 4 4. 色相(*0.1deg)

色相調整値を設定します。設定値の 10 倍の値を設定します。設定できる範囲は、-1800(-180.0°)～1800(+180.0°)です。0.1°単位で設定できます。

1 2 - 3 - 4 5. クランプ

色値のクランプを行う（有効）か、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 4 6. アラーム設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 4 7. アラーム設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 4 8. アラーム設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 4 9. アラーム設定@ラインエラー

ラインシンクロの同期エラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 0. アラーム設定@ファンエラー

空冷 FAN エラーが発生したときに、アラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 1. トラップ設定@SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI-IN 信号にアンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 2. トラップ設定@リファレンスアンロックエラー

リファレンスアンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 3. トラップ設定@LTC アンロックエラー

LTC アンロックエラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 4. トラップ設定@ラインエラー

ラインシンクロの同期エラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 5. トラップ設定@ファンエラー

空冷 FAN エラーが発生したときに、SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

1 2 - 3 - 5 6. 初期設定に戻す

初期化ボタンをクリックすると、各種設定を初期状態にします。

1 2 - 4. 再起動設定

再起動の設定



再起動設定 [-] 2項目

☐ 再起動を許可 いいえ ☐ コントローラの再起動 再起動

1 2 - 4 - 1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかを、いいえ あるいは、はい で設定します。

1 2 - 4 - 2. コントローラの再起動

再起動の許可が「はい」の状態、再起動をクリックすることによりコントローラーが再起動されます。

1 2 - 5. ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、本モジュール基板を再起動してください。ログの時刻は C5001/C5002 フレームのコントローラーの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- ・リファレンス入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻
- ・SDI-IN 入力信号のフォーマットと変化時刻
- ・LTC 入力ロック/アンロックと変化時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変化時刻



ログ設定 [-] 5項目

☐ ログ件数 6 ☐ ログ更新時刻 2023-09-13 17:05:36 ☐ SDカード状態 SDカード準備完了 ☐ ログファイル初期化 初期化

☐ ログ取得 ダウンロード

1 2 - 5 - 1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

1 2 - 5 - 2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

1 2 - 5 - 3. SD カード状態

SD カードの状態を表示します。

SD カード無：SD カードがスロットに挿入されていない状態。

SD カード検出：SD カードを検出しました。

SD カード準備完了：SD カードの準備が完了しました。（R/W アクセスしていません。）

1 2 - 5 - 4. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

1 2 - 5 - 5. ログ取得

ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx, time,	slt, mode , OID ,	type , val , Status Description
7, 2023-09-22 17:18:05,	2, System, Logging Start v1.4.13	
8, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.2 , INT , 1, SDI	UNKNOWN
9, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.12 , INT , 1, LTC	lock
10, 2023-09-22 17:18:07,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 2, REF	525I59
11, 2023-09-22 17:18:12,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.2 , INT , 13, SDI	1080I59
12, 2023-09-22 17:18:14,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 1, REF	UNLOCK
13, 2023-09-22 17:18:19,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 2, REF	525I59
14, 2023-09-22 17:18:27,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 1, REF	UNLOCK
15, 2023-09-22 17:18:30,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 2, REF	525I59
16, 2023-09-22 17:18:39,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 1, REF	UNLOCK
17, 2023-09-22 17:18:42,	2, Status, 1.3.6.1.4.1.47892.2.1.44.30.3 , INT , 2, REF	525I59

1 2 - 6. 製品情報

製品情報にはモジュールの製品情報が表示されます。



1 2 - 6 - 1. 製品 ID

モジュールの ID 番号です。DFS5112-12G は 44 です。

1 2 - 6 - 2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

1 2 - 6 - 3. Version (Firmware) 、Version (Hardware)

DFS5112-12G に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

1 2 - 6 - 4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。DFS5112-12G は 2 スロットです。

1 2 - 6 - 5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

1 2 - 6 - 6. シリアル番号

モジュールのシリアル番号です。工場出荷時に設定します。

1 3 . コネクタ ピンアサイン表

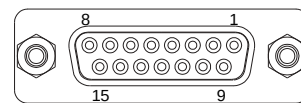
REM Dsub15 (メス) 勘合台インチネジ

1	GND	6	GPI5	11	GPO3
2	GPI1	7	GPI6	12	GPO4
3	GPI2	8	+12V OUT	13	GPO5
4	GPI3	9	GPO1	14	GPO6
5	GPI4	10	GPO2	15	GND

GPI1～GPI6 メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO6 オープンコレクタ出力(24V/30mA MAX)

+12V OUT +12V(100mA MAX)



1 4 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	12G-SDI 2160/ 60p,59.94p, 50p(TYPE1) 6G-SDI 2160/ 30p, 29.97p, 25p, 24p, 23.98p (TYPE2) 3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) 29.97p, 29.97psf(レベル B-DS) *1 HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 24bit 同期音声のみ
	コネクタ	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	SDI 入力と同じ
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 24bit
	コネクタ	BNCx4
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクタ	BNCx2 (ループスルー含む)
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク 75Ω
リモート入出力	コネクタ	Dsub15ピン(メス) 勘合台インチネジ
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0℃～40℃ 20%～85% (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	12 W	
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	0.3kg	

*1 : 2160/29.97p,29.97psf の 3G DUAL LINK は、1080/29.97pB,29.97psfB として表示

1 5 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp